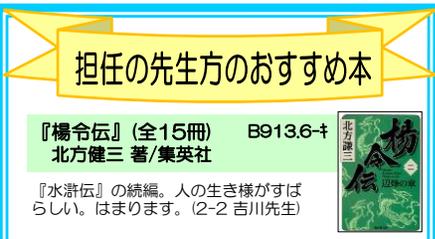




永山高校の50冊

令和3年度
都立永山高校図書館
令和3.7.20

永高生の皆さんに読んで欲しいと思う50冊を先生方から募集し、「永山高校の50冊」として図書館に展示しています。いろいろ本が揃いました。もちろんすべての本は貸出できますので、ぜひこの機会に新たなジャンルの本を読んで、読書の幅を広げてください！



担任の先生方のおすすめ本

『楊令伝』(全15冊) B913.6-1
北方健三 著/集英社

『水滸伝』の続編。人の生き様がすばらしい。はまります。(2-2 吉川先生)



『日日は好日』791-1
森下典子 著/新潮社

何かを始めたいと思う人は是非読んでほしい1冊です。(3-4 川島先生)

『百の夜は跳ねて』 913.6-7
古市憲寿 著/新潮社

読みやすい文章で、普段読書しない人にもオススメです。終盤にいくと、幻想的な世界にいきなわれます。(3-7 毛利先生)



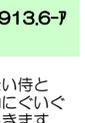
『逆ソクラテス』 913.6-1
伊坂幸太郎 著/集英社

子ども視点ながら、痛快な展開に思わずひき込まれます。(3-8 内田先生)



『流人道中記』 913.6-7
浅田次郎 著/中央公論新社

初めはだらしなしい侍と思っていた人物にぐいぐい魅了されていきます。浅田次郎はさすがうまいなあと思われます。(3-8 内田先生)



『52ヘルツのクジラたち』 913.6-7
町田そのこ 著/中央公論新社

2021年本屋大賞。重いテーマながら、読んでよかったあとと思える一冊です。(3-8 内田先生)



『氷点』 B913.6-3
三浦綾子 著/新潮社

『大地の子』 913.6-7
山崎豊子 著/文藝春秋

『夢十夜』 B913.6-7
夏目漱石 著/岩波書店

『杜子春』(『蜘蛛の糸・杜子春』収録) B913.6-7
芥川龍之介 著/新潮社

『ピルマの竖琴』 B913.6-7
竹山道雄 著/新潮社

『童話集 幸福な王子 他八篇』 オースカー・ワイルド 著、富士川義之 訳/岩波書店 B933-7 (星先生)

『肩甲骨は翼のなごり』 B933-7
デイヴィッド・アーモンド 著/東京創元社

517歳にはかりの家で見つけた「彼」の背中には翼があった?! 不思議な透明感のある思春期の少年たちの物語。(27番と53番を皆も食べたくなっちゃうかも)

『モモ』 943-I
ミヒヤエル・エンデ 著/岩波書店

さめ皆さん。メノホのスクリーンタイムを見てみましょう? 一体何時間楽しんでいますか? それとも、縛られていたか? 幼い少女モモが私たちに「生きる」ということ、「時間」とは一体何者なのか? 本当に大切なものは何

『わたしを離さないで』 B933-1
カズオ・イシグロ 著/早川書房

最後まで、きっと騙され続け。何に騙されていたのか、気づいた時のショックは忘れられません。もしかしら、まだ気づけてないのかも…。映画化もされているのでぜひ。(西部先生)

『坂田アキラの面白いほどわかるシリーズ』
坂田アキラ 著/KADOKAWA

これでもか! って位詳しくかかれた数学の参考書(水竹先生)



『博士の愛した数式』 B913.6-1
小川洋子 著/新潮社

高校生の時にオススメされて読みました!(中山先生)

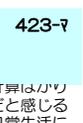
『テニス丸ごと一冊サービス』 783-1
堀内昌一 著/ベースボール・マガジン社

一般向けだが、本格的。生涯テニスをする可能性があるのなら、一度は読むべし。(炭川先生)



『マンガ物理に強くなる』 423-7
関口知彦 原作、鈴木みそ 漫画/講談社

物理が計算ばかりで苦だと感じる人へ! 日常生活にも物理の法則があらわれていることがわかる本です。アインシュタインの相対性理論が気になる人も、マンガ



『ひと』 913.6-1
小野寺史宜 著/祥伝社

『羊をめぐる冒険(上・下)』 村上春樹 著/講談社 B913.6-1

『風のマジム』 B913.6-1
原田マハ 著/講談社 (氣田先生)



『女の子はどう生きるか』 367-7
上野千鶴子 著/岩波書店

女の子はもちろん、男子(男性)にも読んでほしい1冊。モヤモヤしていたことが言葉になると意識も変わります。Q&Aでとても読みやすいです。(及川先生)



『鏡の法則』 159-1
野口嘉則 著/サンマーク出版

短時間で簡単に読める本です。全ての行動は、自分の言動と繋がっています。



『竜馬がゆく』 B913.6-7
司馬遼太郎 著/文藝春秋 (澤田尚志先生)

『いつでも君のそばにいる 一小さなちいさな優しい世界』 リト@葉っぱ切り 著/講談社 726-1

葉っぱ切りで表現される優しくてあたたかい物語の世界。試行錯誤の末、作者が辿り着いた表現方法で



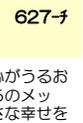
『本当の自由を手に入れる お金の大学』 591-1
両@リベ大 著/朝日新聞出版

日本一わかりやすいお金の教養チャンネル「リベ大」の、誰も言わないけど、やれば人生が変わるお金の勉強実践型1日1冊です。一生お金に困らない5つの力が身につきます。(司書)



『ちいさな花言葉・花図鑑』 627-1
宇田川佳子 監修/自由国民社

眺めるだけで心がうろうう美しい花たちのメッセージがちいさな幸せを運んでくれます。(司書)



『ネガティブ・ケイパビリティ 一答えの出ない事態に耐える力』 帯木蓮生 著/朝日新聞出版 493-1

ネガティブ・ケイパビリティとは、「答えの出ない事態に耐える力」。詩人キーツが19世紀に発見した概念ですが、コロナ禍で先が見えない現代にこそ必要なものかもしれません。精神科医である著者の知識と経験から紡ぎ出される言葉にはたくさんの発見があります。(司書)



『センス・オブ・ワンダー』 404-1
レイチェル・カーソン 著、上遠恵子 訳、森本二郎 写真/新潮社

(萩谷校長)



『教えるということ』 370-1
大村はま 著/共文社

教師の仕事に興味を持っている生徒に、読んでみることを薦めたい本です。大学にいた頃に先輩に薦められた本でした。若い方にも考え方に触れてほしいと思います。(原田副校長)

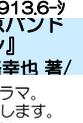
『みをつくし料理帖』 B913.6-7
『あきない世傳金と銀』 高田部 著/角川春樹事務所

江戸時代、困難でも自分の道を進もうとする女性の姿を応援したくなる。ストーリーも面白く引き込まれます。(沢田浩子先生)



『東京バンドワゴン』 B913.6-7
小路幸也 著/角川春樹事務所

王道ホームドラマ。読後ほっこりします。(沢田浩子先生)



『蜜蜂と遠雷』 913.6-1
恩田陸 著/幻冬舎

ベストセラーですが、未読でしたら是非!(沢田浩子先生)



『ピーターラビットの田園から』 NHK取材班/日本放送出版協会

『ピーターラビットのおはなし』をご存じですか? イギリス湖地方、ニア・ソーリー村はそのゆかりの地。のんびりと羊たちが草食む緑の丘に、作者ビアトリクス・ポターの暮らしていた農場があります。花咲く庭、納屋の木戸、古い家具…今も絵本の舞台がそのままに残っています。この本を開いて、ピーターに会いに出かけましょう!(高野先生)



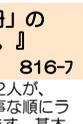
『注文の多い料理小説集』 B913.6-7
柚木麻子 ほか著/文藝春秋

7人の人気作家による料理がテーマのアンソロジー。強烈な前菜から始まり表を突くデザートで終わる、おいしいフルコースです。ごちそうさま(司書)



『「文章術のベストセラー100冊」のポイントを一冊にまとめてみた。』 藤吉豊、小川真理子 著/日経BP 816-7

編集者歴30年以上の著者2人が、100冊分のポイントを大事な順にランキングしてまとめています。基本ルールは7つ。文章磨きの参考にどうぞ。(司書)



『junaida 文・イラスト/福音館書店 E-7』

「わたしの お気に入りのコートのポケットの中のお城の……」かわい絵とリズムカルな言葉で、「の」の言葉の不思議な旅は続きます。たどり着くのはどこ?(司書)



『4コマですぐわかるみんなの防災ハンドブック』 草野かおる 著、渡辺英徳 監修/ティスクヴァー・トゥエンティワン 369-1

今年の梅雨は熱海などで土石流が発生しました。過去にはここ永山でも土砂で電車がストップしました。身近に迫る災害の備えとして読んで欲しい一冊です。(司書)



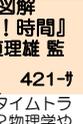
『A1とカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争』 庭田杏珠、渡辺英徳 著/光文社 210.7-1

貴重なモノクロ写真335枚を、AI技術と取材・資料で彩色。遠い昔の話かと思っていたら、急に身近に生々しい息づかいを感じます。(司書)



『ニュートン式図解 最強に面白い!! 時間』 二間瀬敏史、石田直理 監修/ニュートンプレス 421-1

「時間」って何? タイムトラベルってできるの? 物理学や心理学、生物学などいろいろな視点から「時間」の謎を紹介しています。(司書)



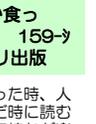
『深夜特急』 B915-7
沢木耕太郎 著/新潮社

夜、一人で、ゆっくりとつづきながら読むと、毎晩旅行気分を味わえます。(1-2 湯浅先生)



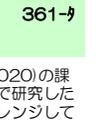
『多分そいつ、今ごろパフェとか食べてるよ。』 159-7
Jam マンガ・文/サンクチュアリ出版

嫌なことがあった時、人間関係で悩んだ時に読むと、何となく気持ちが楽になります。(1-3 高橋先生)



『データはウソをつく』 361-7
谷岡一郎 著/筑摩書房

立正大学心理学部の総合型推薦(2020)の課題本です。難しい本ですが、大学で研究したい人や心理学を学びたい人はチャレンジしてみてください。(1-4 伊堂寺先生)



『野村ノート』 783-7
野村克也 著/小学館

野村さんの先を見通す力には驚かされます。(1-5 土屋先生)



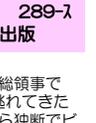
『小さい白にわとり』 908-7
(『くらぐもからチックタックまで』収録) 石川文子編/フロンエース桜籬社

小学1年生の国語の教科書で読んだお話で、「なぜ?」という思いがいつまでも頭から離れず、本文を覚えてしまったほど不思議な内容です。光村図書が何かで教科書で読んだお話集に入っているのをやっと見つけて購入しました。読み終えて、あなたは どう思いますか? あなたはフタですか? イヌですか? ネコですか? それともワトリですか? (星先生)



『決断・命のピザ』 289-7
渡辺勝正 編著、杉原幸子 監修/大正出版

第二次世界大戦中、リトアニアのカウナス総領事であった杉原はナチスドイツの迫害により逃れてきたユダヤ難民の窮状に同情し、人道的立場から独断でピザを発給し6000人も命を救った。しかしこれは当時の外務省の指示に反するもので、これにより杉原は後に罷免され日本外務省からも事実上抹消されていた。しかし恩人に再会し、なんとしてもお礼を言いたいという杉原のために命拾いをした人々の熱意で、やっとのことで再会は実現した。しかし、杉原の名誉回復がされたのは戦後44年を経てからであった。20年前に三鷹高校で1年生の英語の教科書で読み、図書室でこの本を借りて授業で一部読み上げた時、思わず声を詰まらせてしまった胸がすかしい思い出が…。若かったなあ…。(星先生)



『白い巨塔』(新潮現代文学50収録) 山崎豊子 著/新潮社 918.6-7

田宮二郎主演のテレビドラマを観て絶対に本を読んでやると思い、浪人中にむさぼり読んだ。本当にこんなこともあり得るかもと思わせてしまう圧巻の筆力は、1冊を書き上げるために読む参考文献は100冊以上という作者ならではの成せる業か。大学病院に大胆なメスを入れるような作品のはしりでは?(星先生)



『塩狩峠』 B913.6-3
三浦綾子 著/新潮社

結核のつらさに耐えながら向かった鉄道職員が乗った列車は塩狩峠の頂上にさしかかった時、突然客車が離れて暴走し始めた。恐怖に怯える乗客…。明治末期 北海道の塩狩

